

- 1 単元名 かわってきた人々の暮らし
小単元名 昔の暮らし

2 小単元の目標

- ・昔の道具の使い方や、当時の生活の様子を調べて調べようとする。(関心・意欲・態度)
- ・昔と今の道具の違いから、昔と今の生活の違いや、当時の人々の願いについて具体的に考えることができる。(思考・判断)
- ・道具調べをして分かったことや、自分で考えたことを工夫して絵や文で表すことができる。(技能・表現)
- ・地域の人々の暮らしが変化してきていることや、人々がよりよい暮らしを願ってきたことが理解できる。(知識・理解)

3 小単元について

本小単元では、昔の道具とそれらを使っていた頃の人々の生活を調べて、地域の人々の生活が移り変わってきたことについて学習する。高学年や中学校以降の歴史学習のはじまりとも言える単元である。そこで文章や写真などの資料から知識を得ることにとどまらず、歴史に対して主体的に追求を深めていくことができるような単元の構成が必要と考える。例えば、実際に身の回りの道具を探し、おさごえ民家園や歴史博物館を見学する、校内の資料室の道具を調べる、など様々な体験学習を行うことを通し、今の生活と昔の生活を比較したり、昔の暮らしの様子や道具の移り変わりに気付いたりすることができる。また、道具の変化には、よりよい生活を求めてきた人々の思いが反映していることを知ると同時に、自分たちの今の生活を見直すこともできればと考える。

4 児童について

40人という多人数の学級で個性的な考えを持つ児童も多い。これまでの社会科学習では、みんなで実際に見学をしたり、各自が家庭学習として一人調べをしたりする活動を何度か取り入れてきた。主体的に調べたいという意欲をもつ児童は多く、家族に聞く・図書館へ出かけて本で調べる・インターネットで調べる等の方法は定着しつつある。しかし、個人的に見ると、分からないことは何でもインターネットで調べればよいと安易に考える児童や、充分理解できていない資料を単に写してくることで終わらせている児童も見られ、そこからの思考の深まりが見られない。児童の意欲を満足させ追求を深めるために、テーマに合った調べ方をできるだけ紹介し、いろいろな方法の中から選択できるように支援することが必要である。また、中学年の児童には、できるだけ実物にふれて実感したり、実際に使ってみたりして歴史を身近なものとしてとらえさせたい。

学級全体の約1/3の児童は祖父母と暮らしていて、これまでも「農家の仕事」の学習に関連した縄文時代の指導をしていただくことができた。本単元の学習でも、昔の暮らしについての貴重な情報を得ることが期待できる。

5 指導について

単元の導入となる本時では、最初に、児童が見た経験がないと思われるいくつかの昔の道具を提示し、その使い方を予想させることで児童に興味を持たせたい。その中に容易に予想がつく物とつきにくい物を準備し、もっと調べてみたいという意欲につなげたい。

また、実際に昔の道具について調べる際、昔の道具は不便だと短絡的にとらえることがないようにそれぞれの道具の工夫された点やよいところを考えさせたい。そのために、使用できる物はできるだけ実際に児童に触れさせたり使ってみたりさせたい。

本校の資料室には、さまざまな農機具、おひつやお膳などの生活用品、昔の電話機やラジオなど貴重な資料が揃っているので、児童が持ち寄った物と共に有効に活用できればと考えている。

学習のまとめとして道具博物館をつくる活動を取り入れるが、校内の資料室の展示を参考にしながらも、自分たちのアイディアを生かしたものにできればよいことを知らせ、友達と協力して活動できるよう支援したい。

6 指導計画（全 11 時間配当）

時	学習内容	ねらい	関	思	技	知	評価基準
1 本時	昔の暮らしについての導入	今と昔の道具のいくつかを比べ、その違いから昔の暮らしについて調べようとする意欲を持つ。					今と昔の道具比べを通して、これからの学習で調べてみたいことを見つけることができる。 (ワークシート) 昔の道具と今の道具を対応させて考えることができる。 (発表)
2	見学の計画	おさごえ民家園・県立歴史博物館見学で調べたいことを考える。					見学で見たいことを考えることができる。 (ワークシート)
3 4 5	おさごえ民家園 県立歴史博物館 の見学	昔の家を見学したり、昔の生活に使われていた道具にふれたりして、昔のくらしや道具に関心を持つ。					昔のいろいろな道具を見たり触れたりして、当時の人々のくらしの様子に関心を持つことができる。 (行動観察・発言)
6	見学のまとめ	見学で分かったことを絵や文で表し、昔のくらしの様子を考えて話し合う。					分かったことを絵や文で表すことができる。 (ワークシート) 見学をもとに昔の生活の様子を考えて発表できる。 (発表)
7 8	おじいさんおばあさんをまねいて	地域のお年寄りから、昔の道具の使い方やそのころのくらしの様子を聞いたり、道具を使う体験をしたりして、昔の人々の知恵や工夫を理解する。					関心を持ち反応しながら話を聞くことができたか。 (行動観察) 昔の人々の知恵や工夫を理解することができる。 (ワークシート)
9	身のまわりの古い道具をさがそう	身のまわりにある古い道具について調べたことを絵や文にまとめ、くらしの変化や人々の願いに気づく。					古い道具を調べて、それぞれのよさや道具による生活の変化に気づくことができる。 (発言)
10 11	道具博物館をつくらう	集めた古い道具を使って工夫して道具博物館をつくることで、くらしの移り変わりや人々の願いを表現する。					くらしの移り変わりや人々の願いを自分なりに表現できたか。 (作品・発表) 集めた古い道具を自分の分け方で分類して展示できる。 (展示)

7 本時の目標

今の生活で使っているいくつかの道具を見て、昔はその道具のかわりにどんな道具を使っていたかを考え、昔のくらしについて調べようとする事ができる。

8 準備物

昔の道具（いずみ 火鉢 電話機） 生活の様子を表す絵 2 枚 ワークシート

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援 (・) と 評 価 ()	
	T 1	T 2
<p>3つの昔の道具を見て何に使われていたか考える。</p> <p>家にあった道具などを発表する。 ・事前に調べてカードに書いてきたものを，項目別に分けて発表する。</p> <p>これらのものは昔もあったのか，代わりになるものはあったのか想像する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;">2枚の絵を見比べて，ちがいを見つけよう。</div> <p>昔と今の生活の様子を表す2枚の絵を見比べて，道具などのちがいを発表する。</p> <p>昔の生活はどのようなものだったか自分の考えを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;">これから調べたいことを見つけよう。</div> <p>これからどのようなことを調べていきたいか考えてワークシートに書き込み発表する。</p>	<p>・昔の電話機・火鉢・いすみを一つずつ提示する。 電話機・・・形が古い 火鉢・・・現代のストーブ いすみ・ 現代のゆりかご</p> <p>・7項目に分けて書いたカードを項目別に掲示するよう説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;">(電気製品，家具，衣類，おもちゃ，乗り物，食品，その他)</div> <p>・昔をおじいちゃん，おばあちゃんの子どもの頃とイメージするなど助言する。</p> <p>・用途の似ているものを対応させて発表するよう助言する。</p> <p>・児童の考えを板書する。</p> <p>2枚の絵から昔の生活の様子を読み取ることができたか。(発表)</p> <p>これから調べていきたいことをみつけることができたか。(ワークシート・発表)</p>	<p>・クイズ形式にして興味を持たせる。</p> <p>・児童が書いたカードを黒板に掲示する支援をする。</p> <p>・掲示した項目に対応させて板書する。</p> <p>・2枚の絵を提示し違いを見つけるよう説明する。</p> <p>・道具を実際に利用している様子から想像をふくらませる。</p>